

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹 TEL 03-3777-5101
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,154	△11.1	738	△26.3	825	△21.1	600	△22.8
2020年3月期第3四半期	8,044	△2.5	1,002	△25.9	1,045	△26.3	778	△22.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 573百万円 (△20.8%) 2020年3月期第3四半期 724百万円 (△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	250.96	—
2020年3月期第3四半期	325.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,896	10,709	80.9
2020年3月期	13,007	10,355	77.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,436百万円 2020年3月期 10,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	37.00	—	53.00	90.00
2021年3月期	—	38.00	—		
2021年3月期 (予想)				53.00	91.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	△11.6	930	△28.4	1,040	△24.4	730	△22.4	304.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	2,400,000株	2020年3月期	2,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,919株	2020年3月期	5,789株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,394,181株	2020年3月期3Q	2,394,211株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国においては、前期に実質GDPが大幅な落ち込みとなった反動のため、前期比年率が軒並み大幅な伸びとなり、景気は回復基調にあるものの、新型コロナウイルス再拡大が深刻化し、一部地域における経済活動規制などの感染対策や自粛ムードの高まりなどが重石となり、先行きは不透明な状況が続いております。

欧州においては、新型コロナウイルスの厳しい封じ込め政策が段階的に緩和される中、経済活動の再開により低水準ながらも緩やかな景気を持ち直し基調となつてはいるものの、感染者の再拡大が目立ち、回復ペースも緩慢な状況が続いております。

中国をはじめとする新興国経済は、中国においては、新型コロナウイルスの目立った感染拡大は見られず、生産は鉱工業を中心に成長の勢いが増し、他地域に先駆けて順調に景気回復の動きが鮮明となりました。

一方、日本経済においては、生産は鉱工業が経済活動の再開を受け持ち直してはいるものの、製造業等の企業収益が大きく悪化しており、設備投資も影響を受けて減少しております。内外需ともに持ち直しつつあるものの回復ペースは緩やかで先行きは不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門では、環境改善機器である全自動フロンガス交換機は引き続き好調を維持しましたが、インダストリアル部門では、当社の主力製品であるダイアフラムポンプをはじめ、経済活動制限による一般設備機器の売上低迷などにより全般的に低調な推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は7,154百万円(前年同期比△890百万円、11.1%減)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は2,218百万円(前年同期比16百万円、0.7%増)、インダストリアル部門は4,015百万円(前年同期比△851百万円、17.5%減)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は920百万円(前年同期比△54百万円、5.6%減)となりました。

利益面では、売上総利益は2,895百万円(前年同期比△483百万円、14.3%減)となり、営業利益は738百万円

(前年同期比△263百万円、26.3%減)、経常利益は825百万円(前年同期比△220百万円、21.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は600百万円(前年同期比△177百万円、22.8%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は3,942百万円(前年同期比△292百万円、6.9%減)、営業利益は331百万円(前年同期比△249百万円、42.9%減)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は1,916百万円(前年同期比△544百万円、22.1%減)、営業利益は269百万円(前年同期比△24百万円、8.3%減)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は716百万円(前年同期比△26百万円、3.5%減)、営業利益は54百万円(前年同期比15百万円、38.1%増)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は413百万円(前年同期比12百万円、3.2%増)、営業利益は47百万円(前年同期比16百万円、51.9%増)となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は166百万円(前年同期比△40百万円、19.5%減)、営業利益は7百万円(前年同期比1百万円、32.8%増)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は3,537百万円(前年同期比△648百万円、15.5%減)で、その割合は49.4%(前年同期52.0%、2.6ポイント減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は12,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少(△1,067百万円)、建設仮勘定の増加(995百万円)等によるものであります。

負債合計は2,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ464百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(△114百万円)、長短借入金の減少(△62百万円)、賞与引当金の減少(△120百万円)等によるものであります。

純資産合計は10,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(382百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,491百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,067百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは593百万円の純収入(前年同期は623百万円の純収入)となりました。これは主に法人税等の支払額210百万円等の支出要因があったものの、税金等調整前四半期純利益850百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,384百万円の純支出(前年同期は254百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による1,431百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは271百万円の純支出(前年同期は322百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による45百万円、配当金の支払による210百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想については、第3四半期業績を勘案し、予想数値を修正いたしました。本日(2021年2月5日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,558,821	3,491,336
受取手形及び売掛金	1,803,066	1,482,638
商品及び製品	1,729,275	1,652,392
仕掛品	352,520	428,695
原材料及び貯蔵品	481,861	577,205
その他	179,526	226,666
貸倒引当金	△9,388	△8,929
流動資産合計	9,095,682	7,850,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,293,016	1,553,900
土地	1,184,903	1,185,969
建設仮勘定	301,476	1,297,247
その他(純額)	383,666	367,317
有形固定資産合計	3,163,062	4,404,434
無形固定資産	206,978	184,684
投資その他の資産	541,413	457,638
固定資産合計	3,911,454	5,046,757
資産合計	13,007,137	12,896,763
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,012	996,366
短期借入金	106,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	—
未払法人税等	6,018	17,326
製品保証引当金	—	3,188
賞与引当金	167,398	46,446
未払費用	166,488	178,509
その他	283,509	159,871
流動負債合計	1,860,427	1,501,707
固定負債		
長期借入金	212,218	175,949
繰延税金負債	198,553	164,199
退職給付に係る負債	245,845	220,657
役員退職慰労引当金	46,299	47,499
資産除去債務	15,471	15,471
長期末払金	32,270	32,270
その他	40,236	29,502
固定負債合計	790,894	685,549
負債合計	2,651,321	2,187,256

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	9,394,421	9,777,398
自己株式	△6,855	△7,165
株主資本合計	10,045,752	10,428,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,076	49,976
為替換算調整勘定	△27,077	△42,383
その他の包括利益累計額合計	22,999	7,592
非支配株主持分	287,063	273,494
純資産合計	10,355,815	10,709,506
負債純資産合計	13,007,137	12,896,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,044,830	7,154,619
売上原価	4,665,395	4,258,814
売上総利益	3,379,434	2,895,805
販売費及び一般管理費	2,377,338	2,157,178
営業利益	1,002,096	738,626
営業外収益		
受取利息	8,129	1,153
受取配当金	12,081	9,105
補助金収入	—	56,562
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	—	3,229
不動産賃貸料	23,297	22,620
その他	14,929	3,323
営業外収益合計	62,107	99,664
営業外費用		
支払利息	5,456	2,986
売上割引	7,790	7,023
為替差損	1,360	—
その他	3,707	3,273
営業外費用合計	18,315	13,283
経常利益	1,045,887	825,007
特別利益		
固定資産売却益	1,661	37
投資有価証券売却益	44,985	25,719
特別利益合計	46,646	25,756
特別損失		
固定資産処分損	1,482	435
特別損失合計	1,482	435
税金等調整前四半期純利益	1,091,052	850,329
法人税、住民税及び事業税	278,173	220,525
法人税等調整額	30,024	40,505
法人税等合計	308,198	261,031
四半期純利益	782,853	589,297
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,727	△11,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	778,125	600,849

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	782,853	589,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,524	△99
為替換算調整勘定	△42,556	△15,306
その他の包括利益合計	△58,081	△15,406
四半期包括利益	724,772	573,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	720,044	585,442
非支配株主に係る四半期包括利益	4,727	△11,551

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,091,052	850,329
減価償却費	256,575	186,922
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
固定資産売却損益(△は益)	△179	398
投資有価証券売却損益(△は益)	△44,985	△25,719
受取利息及び受取配当金	△20,211	△10,259
補助金収入	—	△56,562
支払利息	5,456	2,986
売上債権の増減額(△は増加)	255,726	312,946
たな卸資産の増減額(△は増加)	△213,634	△103,524
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,506	△111,520
その他	△138,322	△302,457
小計	1,157,302	739,869
利息及び配当金の受取額	20,211	10,259
利息の支払額	△5,468	△2,964
補助金の受取額	—	56,562
法人税等の支払額	△548,631	△210,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,413	593,658
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	—
定期預金の払戻による収入	80,238	—
有形固定資産の取得による支出	△343,516	△1,431,723
有形固定資産の売却による収入	1,863	37
無形固定資産の取得による支出	△70,650	△8,502
投資有価証券の売却による収入	64,489	33,534
投資不動産の賃貸による収入	23,297	22,620
その他	△9,750	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,037	△1,384,204
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	375,000	140,000
短期借入金の返済による支出	△365,000	△146,000
長期借入金の返済による支出	△122,901	△45,875
配当金の支払額	△200,013	△210,455
非支配株主への配当金の支払額	△2,018	△2,018
その他	△7,463	△6,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322,396	△271,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,664	△5,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	40,314	△1,067,484
現金及び現金同等物の期首残高	4,451,531	4,558,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,491,845	3,491,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(製品保証引当金の計上)

当社製品の無償保証期間に発生した無償修理費は、従来、発生時の販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、今後発生すると見込まれる金額を合理的に見積もることが可能となったため、第1四半期連結会計期間より当該金額を製品保証引当金として計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,188千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	4,234,883	2,460,174	742,738	400,756	206,277	8,044,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,220,355	79,018	9,360	1,950	—	2,310,685
計	6,455,239	2,539,192	752,099	402,707	206,277	10,355,515
セグメント利益	581,534	294,419	39,349	31,212	5,468	951,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	951,983
セグメント間取引消去	10,924
棚卸資産の調整額	39,188
四半期連結損益計算書の営業利益	1,002,096

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	3,942,580	1,916,007	716,453	413,486	166,091	7,154,619
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,585,890	55,371	13,805	—	—	1,655,067
計	5,528,471	1,971,379	730,259	413,486	166,091	8,809,687
セグメント利益	331,901	269,993	54,352	47,404	7,259	710,910

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	710,910
セグメント間取引消去	△10,801
棚卸資産の調整額	38,517
四半期連結損益計算書の営業利益	738,626